

シラバス

授 業 科 目	医薬情報学特論		
(英 文 名)	Advanced Drug Informatics		
担 当 教 員	片山博和 他		
単 位 数 (期別)	1 (後)	対 象 学 生	1・2MP

■授業のねらい・概要■

薬物治療に必要な情報を医療チームおよび患者に提供するために、また、患者から得られた情報から問題点を抽出し、服薬指導に活かせるように、基本的技能と態度を修得する。

■授業(学習)の到達目標■

<情報収集・評価>

- 1) 医療用医薬品添付文書とインタビューフォームの使い分けができる。
- 2) インターネットなどを利用して代表的な医薬品情報を収集、評価できる。
- 3) 目的にあった適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集、評価できる。

<医療現場の医薬品情報業務>

- 1) 医療現場でどのような医薬品情報があるか説明できる。
- 2) 患者情報の取扱いについて守秘義務を遵守し、管理の重要性を説明できる。

<薬歴作成ワークショップ>

- 1) 患者からの聞き取り情報などから問題点を抽出できる。
- 2) 処方せん、前回の薬歴などから課題患者について問題点を挙げられる。
- 3) 課題患者に服薬指導するための具体案を議論できる。
- 4) SOAP方式に従い、薬歴を作成できる。
- 5) 医師への情報提供書を作成できる。

<薬剤疫学>

- 1) 区間推定と代表的な検定について行える。
- 2) 記述統計と推測統計について説明できる。
- 3) EBM (Evidence-Based Medicine) 実践のプロセスを概説できる。
- 4) 薬剤疫学の有用性について説明できる。

■回数ごとの授業内容■

- 1 主にインターネットによる医薬品情報の検索 (片山)
- 2 服薬指導の基礎 (SOAP方式) (片山)
- 3 薬歴作成のワークショップの説明 (片山)
- 4 薬歴作成ワークショップ (1回目) (片山)
- 5 薬歴作成ワークショップ (2回目) (片山)
- 6 生物統計の基礎 (秦)
- 7 医療現場における医薬情報活用 (新井)
- 8 薬剤疫学 (片山)

■成績評価の方法・基準■

レポート、ワークショップへの取り組みおよび出席による。

■使用テキスト■

なし。

■参 考 書■

なし。